

2016 年度

東邦大学看護学部・河南科技大学  
国際学術交流プログラム  
来日研修報告書

東邦大学看護学部

## 目次

1. はじめに
2. 来日研修プログラム
  - 1) 研修生
  - 2) 研修プログラム日程
3. 研修風景

## 1. はじめに

河南科技大学研修生を受け入れて

爽やかな秋晴れの中、2016年10月18日から10月25日までの8日間、中国河南省洛陽市にある河南科技大学より、娄丹（lou dan）病院副院長、王红伟（wang hongwei）病院副院長、郝建臣（jia jianchen）救命救急センター医局長、李变红（li bianhong）副看護部長、赵杰刚（zhao jiegang）大学院准教授の5名が看護学部を訪れた。

2009年に学部間の学術交流協定を締結して以来、現在に至るまで毎年活発な交流が継続されており、今年で8回目を迎えることとなった。

来日した翌日には、山崎学長との懇談や看護学部および河南科技大学双方の紹介が行われ、本学教職員による歓迎式が開催された。研修生は、看護学部の他にも医療センター大森病院や佐倉病院、いえラボでの視察見学を行い、大森祭にも参加するなど精力的な研修となった。病院視察では、看護部の皆さまをはじめ病院スタッフの方々のご協力のもと病棟をはじめ救命救急室、集中治療室、外来部門等を見学させて頂き、病院機能や教育体制、医療における地域連携等についての活発な意見交換が行われた。また、地域の中で地域の人々とともに育む新たな教育の場である「いえラボ」を見学し、研修生は質の高い医療や看護を提供するための「地域-大学間連携」の可能性に大きな期待と関心を寄せていた。

研修プログラムを通して、日本の様々な取り組みから多くのことを吸収しようと熱心に耳を傾け学ぶ研修生の姿、視察先のみならず移動中の車内でも熱い議論を繰り広げるその姿にとっても大きな刺激を受けた。研修生の一人が「一日一日を大切に生きる。その積み重ねが結果となる」と穏やかに語ったその笑顔には、長い歴史を持つ中国の奥深い原動力を垣間見たような気がし、改めて身が引き閉まる思いがした。

研修を通して「互いに刺激し学び合う」、そのような実り多き国際交流が今後も続けられることを心から願う。

## 2. 来日研修プログラム

### 1) 研修生 (5名)

- ・ 娄丹 (lou dan) 病院副院長
- ・ 王红伟 (wang hongwei) 病院副院長
- ・ 郝建臣 (jia jianchen) 救命救急センター医局長
- ・ 李变红 (li bianhong) 副看護部長
- ・ 赵杰刚 (zhao jiegang) 大学院准教授

### 2) 研修プログラム日程

| 日程        | 研修内容   |
|-----------|--|
| 10月18日(火) | 13:20 成田空港到着<br>ホテルへ移動 チェックイン  |
| 10月19日(水) | 9:00 山崎学長と会談<br>9:30 出野看護学部長と懇談<br>10:00 オリエンテーションと歓迎会、記念写真撮影<br>10:30 大学案内<br>14:00～16:00 医療センター大森病院の紹介と見学<br>(病棟、救命救急センター、集中治療室、外来、<br>からだの図書室等) |
| 10月20日(木) | 都内はとバス観光   |
| 10月21日(金) | 10:00～15:00 医療センター佐倉病院の紹介と見学<br>(病棟、救急救命センター、集中治療室、新生児集中治療室、<br>リハビリ室、外来等)   |
| 10月22日(土) | 都内観光   |

|           |  |
|-----------|--|
| 10月23日(日) | 10:00 公開講座への参加<br>13:30~14:00 修了証授与、写真撮影 |
| 10月24日(月) | 13:30~16:00 いえラボ見学、シニアステーション訪問           |
| 10月25日(火) | 10:00 パネックスホテル出発<br>14:20 成田空港出発         |

### 3) 研修風景



山崎学長との会談



大森病院での見学



からだの図書室(大森病院) 見学



救命救急センター見学(佐倉病院)



小児科外来の見学(佐倉病院)



いえラボでの見学



実習教材を手にする研修生（いえラボ）



研修プログラム修了後の記念撮影